


 日本共産党一宮市議団の活動をお知らせします。
 2023年5月
No. 860
 発行：日本共産党一宮市委員会
 TEL 45-5424 Fax 45-5347
 一宮市八幡2-13-30

シヤツトル

[発行] 日本共産党一宮市委員会 JCP一宮

市議会 会派決定 (議員数 38 敬称略)

○令和会 19名

浅井俊彦、渡辺之良、横井忠史、花谷昌章、竹山聡、島津秀典、則竹安郎、渡部晃久、
 本山廣次、八木丈之、岡本将嗣、井上文男、中村かずひと、井田吉彦、東淵正人、
 尾関さとる、大津乃里代、木村健太、野村悠介

○新流会 6名

松井哲朗、鶴飼和司、森ひとみ、佐々のりな、高木宏昌、京極ふみか

○公明党一宮市議団 5名

平松邦江、柴田雄二、河村弘保、水谷千恵子、市川智明

○一宮維新と市民の会 2名 服部修寛、白井弓賀

○日本共産党一宮市議団 2名 彦坂和子、渡邊智史

○いちのみやを良くする会 2名 後藤みゆき、宇山祥子

○自由民主党一宮市議会 1名 伊藤裕通

○尾張風の会 1名 高橋一



■今後の議会日程

○臨時市議会

・5月16日(火) 9:30~

議長、副議長選挙 監査委員の選任

常任委員会(4) 正副委員長・委員、議会運営委員会委員
 の選任等



○6月定例会

・開会6月2日(金) 9:30~

・一般質問 8日(木)、9日(金)、12日(月)

・常任委員会

総務15日(木)、福祉健康16日(金)、経済教育19日(月)、建設水道20日(火)

・閉会27日(火)

■日本共産党一宮市議団も代表質問ができることに

日本共産党は市議選で1→2議席に躍進させていただいたことにより、
 2人以上の会派は会派代表質問ができます。(3月議会のみ)
 質問時間(答弁含む)は、会派共通30分+議員数×2分。



代表質問と一般質問の違い

- ・**代表質問** 主義や主張を同じくする議員で構成された会派を代表した議員が、市長の施政方針や予算編成方針に対して問いただすこと
- ・**一般質問** 市長側から提案された議案に関わらず、市の行政全般にわたって事務の執行状況や将来に対する方針や政策提言等や行政への批判などを執行者に直接たずねることで、執行者の所見や施策について報告を求めたりすること。



■市民の声

●市営住宅に入居する外国人が増えている、町内会費の集金に行っても日本語がなかなか通じない人もいます。町内会で自動翻訳機を購入した時に市で補助をしてほしい。

*担当窓口職員に質問 市営住宅に入居している外国人は67世帯。内訳はフィリピン31世帯、中国14、ベトナム9、韓国など。検討してみたい。

●日本共産党は議会で何でも反対しているようなイメージがありますが、本当はどうですか

*市議会で当局から提案される議案等について、ほとんど賛成の立場です。しかし、市民の立場で賛成できない議案について反対理由も述べて反対しています。

例えば2023年3月議会で反対したのは**国民健康保険税条例改正の議案**(市独自の減免廃止等で加入者に負担増になる)等です。
日本共産党だけが反対しました。



■日本共産党の議会に臨む立場

地方自治体の役割は、「住民福祉の増進を図る」(地方自治法第1条)ことにあり、そのためにも国の政治の防波堤になることが求められます。野党として市政をただしながら、積極的に提案もしています。また、選挙中の公約は有権者への約束であり、市民の願い実現に全力をあげます。 (ひこさか和子)

今回は投票率が約2%下がりました

一宮市議会議員選挙では、前回に比べ約2%も投票率が低下しました。とても残念であるとともに、市民の意見が活きる市政にとって後退になりかねないと感じています。今回は投票に行くことのメリット・デメリットを取り上げたいと思います。

投票のメリット・デメリットって・・・？

投票に関するメリット・デメリットは次の通りではないでしょうか。

メリット	デメリット
政治家に「あなたの世代の意見は重要」と認識させられる	時間がとられる
日本をどう動かすか決められる【自分の意見を反映させられる】	
選挙や政治への関心が自然と持てるようになる	

特に現役世代は忙しいというのは理解しており、時間がとられることは大きなデメリットかもしれませんが、メリットの方が多い行動ではないでしょうか。ぜひ今後の選挙に足を運んでいただきたいと思います。これから諸点を取り上げていきます。

投票率が低い世代向けの政策が後回しになるかも

投票率の高い世代が突出していると、その世代での支持を求めて対象世代向けの政策が重視されかねません。各世代が高い投票率でいるほど、社会全体が良くなる政策が進められていくこととなります。誰もが子ども時代、青年期、壮年期、高齢期などの時代を過ごします。全世代が過ごしやすい日本を、愛知を、一宮市を作っていきたいと思います。候補者を選べないという方は、「候補者名を書かずに入れる（白票）」こともできます。投票率にはカウントされますが、支持する人はいないという表明につながります。

この国、県、市をどうするか決められる

投票することで、候補者を応援することにつながり、政治に自分の意見を反映することにつながります。「だけど、1票だけでしょ？」と思われる方がいますが、投票率が低い状況であるほど、1票の影響は大きくなります。極端な例ですが、有権者が10人で、5人しか投票しなかったとすると、1票の持つ効果は2倍になります。

今回の一宮市議会議員選挙、有権者約30万人に対し、投票率約40%なので、1票の与える影響は約2.5倍でした。自分たちの願いを叶え、問題を解決してほしい人ほど、投票した方が良いと思います。また、税金を使って行われる選挙でもあります。投票権は権利なので、行使する自由・しない自由もありますが、自分の意見を反映する機会にされてはどうかと思います。

選挙や政治への関心が持てるようになる

投票すると、自分の投票した人や、その他の人がどのような活動をしているか、その他の人がどのような活動をしているか関心が持てるようになると思います。政治や選挙への関心が持てるようになるのではないのでしょうか。

政治は生活に直結していて、選挙はその政治を左右するものだと感じてもらい、関心をもっていただきたいと思います。

総務省や、東京都などの自治体でも、投票率向上につなげたいという思いで様々な取り組みを行っています。ここでは、総務省と東京都が作った動画を紹介したいと思います。関心のある方は是非ご覧ください。

総務省の動画



東京都の動画



議会制(間接)民主主義では、少数意見が反映されづらい

日本も、愛知県も一宮市も含め、世界の多くは、議会制民主主義を取っています。残念ながら一定数以上の支持を集めた人しか議員となれず、少数意見を十分に反映できない制度となっています。

少数の議員による会派からの意見を無視する議会運営が行われることは、少数意見をさらに反映しない運営になる可能性が高まります。

3月議会で、3人以上の会派だけが、議会運営委員会の正式委員となるということが決められました。少数者の意見を聞かない議会運営が行われることは大きな問題ではないのでしょうか。日本共産党一宮市議団は、民主主義が活きる市政のため声を挙げていきます。みなさんからのご意見・ご感想をお寄せください。

市からのお知らせを紹介します

市の取り組みについて、シャトルでも一部取り上げます。周りの方々も含め、制度・施策をご活用ください。今回は、2件取り上げます。

名妓道路等における都市計画素案の見直しについての説明会

2023年①5月13日(土)、②5月24日(水)いずれも19時から、①市民会館大会議室、②市民会館ホール

低所得の子育て世代に対する支援特別給付金

①申請扶養者には5月22日に支給、以降随時支給 ②児童一人あたり一律5万円

●ひとり親世帯(2023年3月児童手当受給者は申請不要)

公的年金など受給しているため2023年3月の児童扶養手当を受給していない方、2023年以降の家計が急変している児童扶養手当受給している方と同じ水準の収入の方

●ひとり親世帯以外(昨年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金対象者は申請不要)

18歳未満(障害児は20歳未満)の児童を養育する父母等であり、2023年1月以降の家計が急変し住民税非課税相当の収入となった方

は申請が必要です。(受付6月～を予定) 詳細は子ども家庭部子育て支援課 0526-28-9023 まで